

まえがき

この本を手にとられた方の中には、「お金」や「時間」に縛られ将来に不安を抱いている方もいるでしょう。昨今、老後2000万円問題や定年年齢引上げ問題、終身雇用制度の終焉がメディアに取り上げられ、ますます不安が募る時代に突入してきました。

しかし、それと同時に最近では副業や複業が注目され、ダブルワークを始める方も増えています。収入を会社一本に頼らず複数の収入の柱を持つことで、リスクにも備えられスキルアップにも繋がります。とはいえ何から始めたらいいのかわからないかと思っっている方もいるかと思えます。そういった方々に僕は不動産投資をおすすめしています。

不動産投資は株やFXなどの投資と比べて再現性の高い投資法だと思えます。自分の努力が結果に直結しやすいですし、サラリーマンの傍ら取り組むことも仕組化されていて始めやすいのが特徴です。

僕は不動産投資を始めて6年以上経ちますが、取り組むメリットが大きいことを実感しています。

例えばケガや病気をしたとき、会社はすべてを守ってはくれません。僕はそれを身をもって体験し不動産投資に出会いました。

不動産はいわば自分の分身です。寝ている間もお金を稼ぎ続けて利益をもたらしてくれます。自分の時間を切り売りする労働収入ではなく、不動産という資産がお金を稼いでくれます。

この仕組みのおかげでお金の心配が減り、何にでも前向きに取り組めるようになりました。

僕が不動産投資を始めたときを振り返ると、次の3つを意識していたと思います。

正しい知識を身につける

まず正しい知識がなければ間違った方向へ進むでしょうし、取り返しのつかない失敗もしてしまいます。

正しい知識は本を読んだりセミナーへ行ったりして誰でもどこでも手軽に学ぶことができます。積極的に身につけましょう。

問題はその次の行動に移せるかどうかです。この本を手にとられた方は、おそらく不動産投資に興味を持たれているのだと思います。

僕もこれまで100冊以上の不動産投資に関する本を読んできました。そこには成功するためのノウハウやスキルが多く書かれています。

しかし、本を読めば読むほど知識は豊富になるのですが、それと同時に不安も増えるのです。

「失敗したらどうしよう」

「私になんかできるのかな」

さまざまな不安が頭に浮かんできます。一度ネガティブな想いが生じると最初の一步を踏み出すのが難しくなります。

そうなる前にまずはやってみる。考えるよりすぐ行動を起こすことが大事です。行動を起こさなければ何も変わりません。

まずは小さな一歩で十分ですので、勇気を出して始めてみましょう。

最後は目標達成するまで継続する努力が必要になります。ときにはくじけそうになる出来事も起きるかと思えます。そのときにどういう「心の在り方」で臨むかが成功のカギを握ります。

諦めたらそこで終わりです。続ければ失敗ではなく経験になり、その積み重ねが目標達成に繋がります。

しかしながら、お会いする方々にお話を伺うと多くの方が最初の一步を踏み出すことに躊躇したり、始めたとしても根気よく続けることができていなくなったりするように感じます。

正直不動産投資はいいことばかりではありません。建物自体の劣化もありますし、入居者によるトラブルもあります。

これまで僕は多くの問題に直面してきました。そのたびに逃げ出さずに問題と向き合い、対応して行くことができたのは、知識や行動に加え、

「ポジティブなマインド」

を持ってたからだと思っています。

正しい知識があつてもそれを実際に使えなければ意味がありません。知識を行動に変え継続するためにはマインドが重要になります。

この本では僕の経験を踏まえ不動産投資で自分が掲げる目標に近づくための「マインドの在り方」を中心に伝えたいと思います。

これからの時代はITツールの発展により個々の活動がさらに注目されていきます。人任せにせず自分で考え行動できる人が、これまで以上に大きく成果を伸ばしていくことができます。

僕がやっている不動産投資の中でも空き家再生投資は、地域の空き家問題を主体性を持って解決していくことで、お金や時間を手に入れるだけでなく所有者、入居者、地域の方々に喜んでもらえ、多くのやりがいも感じられます。

ぜひみなさんも勇気を出して空き家再生投資にチャレンジしてみてください。

また、この本で学んだことは不動産投資に限らず日常生活のさまざまな場面でも生きてくると思えます。

特にサラリーマンをされている方は会社での仕事に取り組む姿勢も変わるぐらい大切なことを書いたつもりです。

自分の人生を切り開いていくには、自ら自分の人生の舵を握って行動し続けることが必要です。そのため、この本が1人でも多くの方の力になればうれしく思います。

さあ！

「お金」や「時間」に縛られない自分らしい人生を目指して、ワクワクしながら空き家再生投資の世界を覗いてみましょう。